

千葉県社会福祉法人経営者協議会 青年部会

令和4年度事業計画書

◆ 基本方針

1. 経営マネジメント能力を必要とする青年役職員に対して、自己研鑽を促し、本会活動の活性化を図る。
2. 資質の向上を目的に情報交換と交流の場を提供する。

◆ 活動内容

1. 総務委員会

(1) 新規会員の加入促進

- ・青年部会役員のみならず会員にも協力を仰ぎ、新規加入に向けた促進活動を引き続き実施する。
- ・千葉県経営協会員法人の理事長等にも青年部会の活動内容をご理解いただき、次代の法人経営を担う職員の入会を仰ぐ。
- ・情報交流の場の提供として「真剣青年部世代しゃべり場」を年2回開催する。

(2) 会員法人の情報公開の推進

- ・会員法人に対し、財務諸表のみならず自法人が行う公益的な取り組みなどについて、自主的且つ積極的に情報を公開していくことを推進していく。
- ・会員法人の公益的な取り組み内容など、情報交換ができる機会をつくる。

(3) 全国経営青年会や親会との連携の強化

- ・千葉県経営協青年部会の活動のみならず、他団体との連携を強化させるために、青年部会の役割を明確にし、魅力ある青年部会の運営を遂行する。

(4) 地域公益活動の継続的な実施

- ・千葉県内問わず、地域で必要とされているボランティア活動を積極的に実施する。

2. 広報委員会

(1) 入会案内パンフレットの刷新

- ・青年部会パンフレットを刷新する。親会パンフレットと同じA4サイズに変更し、内容の充実を図る。

*会員コメントは介護・障害・保育・救護等幅広い分野の事業所から集めるよう配慮する。

*新たにOB会員体験談のページを作り、青年部会に加入するメリットを伝えていく。

*各委員会の活動も掲載し、青年部会の活発さをアピールしていく。

(2) ホームページ・SNSの管理運営

- ・千葉県経営協ホームページの管理運営の実務を担う。

*ホームページを活用し、各種研修会案内・報告、各種調査研究報告等の情報提供を行う。

- ・ホームページと合わせてSNS（フェイスブック）を活用し、リアルタイムな情報公開を

行い、一般に向けた社会福祉法人の活動を広くPRする。

- ・ホームページ・SNSを活用した会員促進活動を行うとともに、会員施設の情報発信の場として活用する。
- ・ホームページのアクセス数増加と千葉県経営協のブランドイメージ確立のため、会員法人ホームページへのバナー設置を促していく。

3. 研修委員会

(1) 次代を担う若手経営者を踏まえ、幅広い職域の人材育成・教育（研修会の実施）

- ・若手経営者等に求められる資質やスキル獲得の機会を提供するとともに自己研鑽への動機付けを行う。
- ・経営の実務担当者として必要な知識、能力の習得と資質の向上を目的とした研修を実施する。

*研修3回

*日程検討（7月・12月・3月頃を予定）

*研修内容・方法（内容を適宜検討し、新型コロナウイルスの状況を鑑みオンライン等を活用する等様々な研修方法で行う。）

- ・情報交換・意見交換を通じて法人組織の中核的立場として人脈の形成を図る。

(2) 将来を見据える経営視点の獲得（視察研修の実施）

- ・県内外を問わず先進的な取り組み（経営革新・地域公益活動等）を行っている社会福祉法人の視察研修会を企画・実施し、今後の社会福祉法人経営に必要な視点を獲得する。

*県内外視察研修1回（新型コロナウイルスの状況を鑑み実施）

*日程・場所・内容（検討中・10月頃を予定）

(3) 経営協主催の研修参加の促進

- ・全国経営協及び県経営協が主催する経営者向けの各種研修会・セミナー等に参加することにより、経営者としての視点を取得する。

4. 親会との関わり

- ・令和4年度についても、親会に対して、青年部会員の積極的な関与が求められているため、引き続き連携を推進していく。

*経営対策部会

（災害福祉支援プロジェクト）オールちばとも災害支援チーム 各地区のブロック長として8名が参画

（公益事業検討プロジェクト）オールちばとも公益事業推進チーム 専門委員として3名が参画

*総務広報部会

青年部会副部長2名が参加

*研修部会

研修会の準備・運営等に都度協力